

PubMed 2

諏訪 敏幸

I. はじめに

PubMed には豊富な検索機能があり、詳細については既に多数の優れた解説、連載、手引書、ウェブサイトなどがある。例えば東邦大学医学メディアセンターの「PubMed の使い方」(<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/pubmed>)などこれ1つで必要な情報がほとんど得られる優れたものである。そこで今回は、PubMed の基本である Query Box を中心に、PubMed 検索全体を見渡すような情報の提供を心がけたい。

II. PubMed の性格と検索機能の特徴

NLM (米国国立医学図書館) には、アメリカ国民への医療・医学情報の提供という役割がある。PubMed は、その実現の手段という性格を持っている¹⁾。医療・医学情報を必要とする国民とは、例えば開業医を含む臨床家、地域の保健関係者、健康産業従事者、医療サービスの消費者である患者や介護者などである。その多くは、忙しく、データベースや文献へのアクセスに制約があり、検索技術に通じているとは限らず、しかし目の前の問題について信頼できる答を今すぐにでも手にしたいという人々である²⁾。PubMed がウェブで無料公開されていること、トップ画面のシンプルな Query Box に何かキーワードを入れるだけで検索ができるよう設計されていること、フルテキストリンクでオンラインジャーナルにアクセスできることなどは、このような目的に沿っている。

III. Query Box

PubMed の画面を開くと、画面の上の方に Search [PubMed] for [] という入力欄、Query Box がある。ここにキーワードを入力して検索する。主なルールは次の通りである。

- 大文字小文字は区別しない DM = dm
- 前方一致はアスタリスクを使用 nurse* → nurse, nurses, nurse-midwifery
- 人名をフルに入れるときは姓、空白、名のイニシャル (句読点なし) kim js

キーワードは単に並べて入れる。PubMed は入力された語句を自動的に辞書とつき合わせ、ここからここまで1つのフレーズ、これは1語のキーワード、これは人名…などと解析し、各々の種別に応じて検索した結果を AND で掛け合わせる。主題的なキーワードはシソーラスに自動マッピングして主題検索もおこない、キーワード検索と併用して再現率を上げている。

少し細かく検索したければ次のようにする。

- おまかせでなく明示的に論理演算をしたいなら、大文字で AND, OR, NOT 等と入れる。この場合は例外的に大文字小文字が意味を持っている
- 特にフレーズを指定したければ " "ダブルクォーテーションで括る
- 項目を指定したいときは、キーワードの後に [jn] (雑誌名)、[nm] (物質名) などのタグを付ける。タグは Help で調べられる。例えば、単に henderson v だと 著者が V* Henderson の文献を探すが、henderson v[ps] は V* Henderson についての評伝・追悼記事などを検索する

すわ としゆき：大阪大学附属図書館生命科学分館参考調査係
mktb@library.osaka-u.ac.jp

実際にどう検索されたかは、**Details** タブを開いて検索式 (クエリー) を見るとわかる。検索式に手を加えて検索しなおすこともできる。

絞込条件は Limits で指定することもできる。Limits は解除するまで有効である。

VI. サイドバーの検索機能

画面の左側、PubMed Services という見出しの下には補完的な検索機能が幾つか並んでいる。

Clinical Queries は、Query Box の基本機能にフィルタリング機能を加え、臨床試験、システマティック・レビュー、遺伝学関係文献などを効率的に探し出せるようにしたものである。Query Box による検索の1つの特徴は、幾つかのキーワードを入れた後は PubMed に「おまかせ」だということだが、Clinical Queries ではこの性格がさらに強められた。それだけに「便宜的な EBM 検索フィルターであることを心得て使」うことが肝要だと指摘されている³⁾。

さて、ここまで述べてきたような「おまかせ」式の検索は、必ずしも研究のための文献検索、特に先行研究調査のような目的には適さない。研究目的の検索では、単に1つの「答」を見つけるだけでなく、その周辺のさまざまな情報も重要とされる。そのため検索者自らが MeSH を操作して主題検索をおこない、履歴検索を積み上げていくといった検索過程のコントロールが求められる。SPIRS や OVID などの商用システムの中にはこのような検索に適した優れたシステムがある。PubMed も、**MeSH Browser** からシソーラスに入って主題検索を行ない、**History** タブを開いて履歴検索を行なえば、こういった検索がある程度は可能である。商用システムが使えない環境でも高度で精密な検索ができることは、PubMed の魅力の1つである。

Single Citation Matcher は、著者名と年だけ、または年・巻・ページだけといったように、一部の書誌事項から該当文献を探し出す、いわゆる exact search 専用の画面である。例えば Science の引用で論文名がわからない、引用が

間違っているらしいので正しい書誌事項を知りたい、といったときに威力を発揮する。

V. 検索結果についての注意事項

意外と利用者に知られていないのが検索結果の見方である。ここでは3点、注意を促したい。

まず、PubMed でヒットする文献にはまだ出版されていないものもあるという問題である。多くの出版者は、割付が終わると NLM に書誌データを送稿する。この時点で PubMed での検索が可能になるが、ここから出版まではしばらく時間がかかる。このため検索結果の上位にはこのような未出版文献がしばしば現れる。

次に、雑誌名・年月日の後に現れる [**Epub ahead of print**]、すなわち、「プリント版に先立って (ahead of print) オンラインで公開した (epub)」という表示である。著者・読者双方の利益のため出版前にオンライン版で論文を読者に提供する雑誌が増えており、[Epub ahead of print] は現在その文献がオンラインでしか読めない未出版の状態であることを意味する。

3つ目に、よくうっかりするのが論文の使用言語である。PubMed には非英語論文も多い。非英語論文はタイトルが角括弧 [] に入れられ、その下に言語表示がある。タイトルが角括弧に入っていたら、利用可能な言語かどうか確認が必要である。なおローマ字またはキリル文字言語の場合は、**Display** を MEDLINE にしてタグ TT の項目を見れば原題を確認できる。

参考文献

- 1) Self PC, Wright BA, Waugh JL: Remote users of health sciences libraries. *Libr Trends*. 1998 ; 47 (1) : 75-90.
- 2) Banks RA, Thiss RH, Rios GR, Self PC : Outreach services: issues and challenges. *Med Ref Serv Q*. 1997 ; 16 (2) : 1-10.
- 3) 小田中徹也: PubMed (MEDLINE) によるエビデンス検索. 病院図書館. 2002 ; 22 (4) : 180-187.